

# 雪に埋まった寺院を救え!



新潟の寺院に十三名の有志が参加

## 神奈川仏青が 除雪ボランティア派遣

総登山・総授戒  
あなたの中の  
仏に会いに

極微 ごくみ

団塊の世代が社会の一線からリタイヤする時が迫っている。この世代への評価は、今のところ功罪相半ばというところか。ところが、ここに来て、下の世代からは「そぼ打ちに逃げ込むな」との声が上っている。「社会的活動に背を向けて、悠々自適な趣味生活に逃げ込むな、今ある社会にした責任をとれ」ということだ。地域社会からドロップアウトせず、崩壊しつつある「共生の地域社会」を再生する手伝いをして欲しい、といいかえてもよい。いずれにせよ、日本の将来を左右する世代であることを放棄しないでほしいということである。

記録的な豪雪にみまわれた信越教区新潟部に、神奈川教区仏教青年会（大久保信祥会長）が除雪ボランティア有志十三名を派遣し、同教区の常行寺（北魚沼郡・石田俊明住職）の除雪を行った。

今回の豪雪は、新潟中越地で被災した信越教区新潟部の各寺院にとって、復興途上での二重の苦しみとなっている。神奈川仏青の大久保会長は、昨年未より豪雪被害を受けた寺院・檀信徒に対し雪かきのボランティアが出来ないものかと、会員に発案したと

加を表明した。さっそく除雪ボランティアを募ったところ、十三名が参加を表明した。

### 困難を極めた除雪作業

二月七日早朝四時に大久保会長の自坊、川崎の無量院に軒下まで積もった雪を取り除く作業にあたる、神奈川仏青のボランティア

メンバーが集合、除雪道具を車に詰め込み出発した。約五時間後、現地に到着。現地は行く前の想像を遙かに越える状況で、常行寺の辺りは積雪が四メートル近くあ

### 法の灯

#### 石ころと石

陸奥教区布教師会会長 嶽内真弘

昨年、鐘樓の土留め工事をした時のことだ。造園師が石積みをしたのを見ると、大きい石だけでなく、捨ててしまうような小さい石も組み合わせられて積み上げていた。その造園師の話では、この方法は、比叡山麓の坂本に古くから伝わる、穴太衆の野面積みといわれるもので、若い時に大津市でこの技法を学んだとのことであった。その時の話では、どんな石でも、「おれを使ってくれ」と話かけているのだ、それを使おうと、石は「ここに使ってくれて有難う」と言っているのだということであった。妙なことを話す人だと思っていたが、出来た石積みを見てみると、造園師の言っていることが解る気がするのである。大きい石の間に取められた石ころは、そこでは石ころではなくて、どんなに小さくても、そこにはなくてはならない存在になっているのである。そこでは、石ころが石として生かされているのである。多くの人が見捨てるような石ころでも、それを生かす感性と技法が、比叡山の麓で発達したことは、当時の石職人の中にも、宗祖大師の教えが生きていたのではなからうかと、この石積みを見て感じるのである。



時折、屋根から崩落する雪に注意をしながら、慎重に除雪作業を進めた

り、本堂の周辺、庫裡の裏の方は完全に埋まり、屋根だけが見える状態だった。石田住職の話では、十九年振りの大雪で、ここまで積もることは近年ないとのこと。除雪作業最初は雪に足を取られるなど難航を極めた。雨のため、一日目は午後四時で終了。二日目は、夜からの雪も作業開始頃には止み、作業にも慣れたこともあって本堂と庫裡の裏周辺を除雪した。

今後は、ボランティア活動に続く、地道な支援が必要になりそうだ。

◎面・5面に関連記事



### 花想 風言

三月、花屋の店先を飾るモモの花は、桃の節句に合わせて咲かせた、促成栽培の品種だ。  
四月になり、寺社の境内で、枝先に開いたピンクの花を眺めていると、心がうきうきとして春がやってきた気分になる。

桃と言えば「桃から生まれた桃太郎」伝説が知られている。  
六十年以上も昔、幼稚園の卒業お遊戯会で、私は鬼ヶ島の鬼の役になった。桃太郎から吉備団子をもらった犬、猿、雉が、総がかりで鬼の大将の私に馬乗りになって、最後に降参するのが私の役どころだった。  
桃太郎役は、山藤章二君がなった。周知のごとく彼は後年有名なイラストレーターになったが、そのころ私は山藤君をいじめていたので、予行演習では筋書き通りにやったものの、親が見物に来た本番では鬼の

私が大暴れして桃太郎や雉や猿が泣き出し、お遊戯会はめっちゃめちゃになった。  
比叡山高校時代には「桃太郎伝説は、川から流れてきた桃を食べた老夫婦が、回春して若返った結果、桃太郎が生まれた。」とある中国の回春伝説をネタに質問を重ねて、担任の故藤支澄道先生をあきれ返らせた。桃は私には思い出が深い。  
ハナモモは鑑賞用に育てられ、江戸時代には二百種を超える園芸種があった。私の住む神奈川県はハナモモ改良の本場で、写真の「照手姫」は藤沢市の小栗判官伝説にある姫の名前からつけられ、国内ばかりでなく海外にも大いに輸出されている。  
ついでながら食用の桃は福島県、岡山県が本場で花は岡山の県花でもある。

### 第24回 ハナモモ 福田徳衍 (文・写真)

◆プロフィール  
五十六年東京生まれ。十二歳から二十歳まで比叡山で小僧生活をして遊んだ。  
元朝日新聞社記者。信越教区新潟部・徳法院住職。俗名福田 徳衍。

## 六道絵 一挙公開

国宝 六道絵「阿鼻地獄」(部分)  
滋賀・聖衆来迎寺蔵



「厭離穢土」に説かれる六道の諸相を描いた十二図と、第七「念仏利益」の經典説話を描いた二図および閻魔王庁図の計十五幅からなる大作です。  
宋元画の影響の強い幅や、やまと絵風の幅が混在していますが、色調が全幅の統一感を保っています。どの図も破綻のない構成で、第一級の画家の手になる十三世紀後半の作と推定されます。  
旧軸木に記された修理銘によれば、この十五幅が、正和二(一一三三)年には「叡山横川霊山院之霊宝」であった

## 鬼手仏心

### 科学技術と仏心

天台宗出版室長 小林 祖承

今年の初めに、景気の回復が期待されるとか日本海側に記録的な降雪があったなど、明暗取り混ぜたニュースがあった。その中で一件、妙に気に懸かるものがあった。  
それは、「日本学術会議が科学者の行動規範を制定する方針を固めた」という報道である。論文の盗用、実験結果の改ざんなど、内容に疑義のある研究事例が増え、放っておけなくなってきたというのが理由だろう。

元来、科学技術の研究目的は人間の利便、幸福に資するものである。これまでの歴史を振り返れば、科学技術の発展がどれ程人間の生活を豊かにしてきたか、言わずもがなである。しかし、その発展が核兵器を生み、クローン技術の進化が人間の「生命倫理」の概念を脅かしている。

今では、一つの科学技術が人類、さらには地球の存亡に直結する事態を生むことも考えられるのである。もはや、科学研究においては、倫理上の評価を外せない時代が到来していると思えてならない。  
天台教学における十界互具(仏・菩薩及び地獄などの十の境界は外にも、そして個々にも内在する)の教えによれば、われわれ人間には仏の心と鬼の心が併存する。科学技術が「鬼心」に手を貸し、悪魔の道具と化すことのないよう、慎重の上にも慎重を期した姿勢が求められている。

今年、景気の回復が期待されるとか日本海側に記録的な降雪があったなど、明暗取り混ぜたニュースがあった。その中で一件、妙に気に懸かるものがあった。

元来、科学技術の研究目的は人間の利便、幸福に資するものである。これまでの歴史を振り返れば、科学技術の発展がどれ程人間の生活を豊かにしてきたか、言わずもがなである。しかし、その発展が核兵器を生み、クローン技術の進化が人間の「生命倫理」の概念を脅かしている。

今では、一つの科学技術が人類、さらには地球の存亡に直結する事態を生むことも考えられるのである。もはや、科学研究においては、倫理上の評価を外せない時代が到来していると思えてならない。

## 最澄と 天台の国宝

### 東京展 の魅力

(2)

東京国立博物館上席研究員 松原 茂

本展覧会の見どころのひとつは、滋賀・聖衆来迎寺所蔵の国宝「六道絵」全十五幅が、寺外ではじめて一挙に展示される(会期前半3月28日〜4月16日の公開)ことである。  
普段は東京・京都・奈良の国立博物館・大阪市立美術館・滋賀県立琵琶湖文化館(大津市)に数幅ずつ預けられていて、過去の展覧会でも十五幅が一度に展示されたことはありません。ご住職のご記憶によれば、同寺客殿で並べてから五十数年振りにもなること。



国宝 六道絵「等活地獄」(部分)  
滋賀・聖衆来迎寺蔵

また、最近の研究では、この「六道絵」の制作には、源信が『往生要集』を著述した首楞嚴院 および二十五三昧念仏講が関与し、正和元(一一三二)年十月に焼失した首楞嚴院から霊山院に移されたのを機に修復された可能性があると指摘されています。  
またとない機会です。是非ともご覧下さいませよう。  
【4・5面に関連記事】

#### 会期

3月28日(火)〜5月7日(日)

#### 会場

東京国立博物館 平成館 (東京・上野)

お問い合わせ(ハロダイヤル) 〇三・五七九九・八六〇〇

談話室

仏教の散歩道



22

ひろ さちや

をわの支や/巻数。問からせい。ち多。点幅いろ8多。な説く。てひ。々視、け「心。様なすは、若社。的や口受に若。家。的や口受に若。作仏か切持著の新

仏教の講演会に講師として招かれて行くのですが、主催者は聴衆がどれくらい集まるかを心配されます。あまりにも聴衆が少なかった場合、「わたしどもの努力が足りなかったのです。申し訳ありません」と、謝られるわけです。そのとき、わたしはこんな話をします。

ないものねだり



(カット・酒谷 加奈)



「わたしどもの努力が足りなかったのです。申し訳ありません」と、謝られるわけです。そのとき、わたしはこんな話をします。大学生のとき、教室で先生が、「最近では欠席する学生が多い。よろしくな」と説教されました。それを聞いてわたしは、



神奈川仏青会長として除雪ボランティアを率いた

大久保 信祥師

暮れから記録的な大雪でした。まずは、除雪ボランティアの立ち上げから。「新聞やテレビで見ても、こりや大変だろうと。それで教区の新年会で資金のカンパを呼びかけたわけです。私は天台仏教青年連盟の救済委員長も兼ねていますので、信越仏青に『除雪ボランティアに行くけど、どうだ』と声をかけたら、新潟部がひどい。それで二月七日に神奈川教区有志十二人と共に弘暁出発したんです。

最初から新潟の常行寺さんを目指したわけですか。「いや、それがね、最初は朝一軒、昼一軒、夕方一軒のつもりで、二日で六、七軒は

除雪が出来るだろうという計算だったんですよ。ところが、着いてみるとんでもない。一面四層を超えるものすごい雪で、常行寺さんだけで丸二日かかってしまいました。退去命令が出ていたお寺も多かったですし……」。除雪道具は。

「こちらから、アルミやプラスチックのスコップを持っていきましました。それからスノーダンブというチリトリの巨大なやつを持っていった方がいいとアドバイスがありましたから、それも持参したんですが、途中で全部壊れました。地元の特産品でないとい

稿道心の中に投衣食あり

去る一月二十六日、残雪に加えて小雪の舞う、比叡山根本中堂において、開宗千二百年祥当法要が荘厳かつ厳肅に執り行われた。宗祖伝教大師への報恩感謝と共に、次なる時代への展望と責務を感じた祈りのひと時であった。

着席中にもかかわらず、中途退席者が多かったことは誠に残念であった。いかに比叡山が厳寒とはいえ、その内容からして不謹慎との感を禁じ得なかった次第である。宗門重役の方々にも、誠に申し訳ない思いである。天台宗僧侶のひとりとして慚愧にたえない。事務局の方々の案内方法に対しても、一言苦言を呈する。

天台宗の「プロレス軍団」

理ですね。重労働でしょう。「四層近く掘り下げてゆくわけですから、もうみんな汗ダクダクです。まずは作業道を作るのにラッセルしなくちゃいけない。雪捨て場を確保して、それから除雪です。うちの連中は、サッカーのコーチやカバティの全日本選手やジム通いの体育系が多いから、何とかありました。陰では『天台宗のプロレス軍団』とか呼ばれていたようです。それでも、全員筋肉痛になりましたけど」。



東京国立博物館

# 天台宗開宗1200年記念 特別展 「最澄と天台の国宝」

## 日本仏教の原点探る視点で 荘厳な展示演出も計画

### 今月28日から5月7日まで

前期：3月28日～4月16日  
後期：4月18日～5月7日

天台宗の開宗千二百年を記念した「最澄と天台の国宝展」が、京都に引き続いて三月二十八日から五月七日まで、東京・上野の東京国立博物館（東博）で開催される。京都展には出品されなかった上野・寛永寺の秘仏・御本尊「薬師如来像」（重文）など門外不出の仏像をはじめ貴重な書、絵画などが展示されることもあって開展が待たれている。

### 信仰に基づく六つのテーマ

今回の「最澄と天台の国宝」における展示は京都展と同じく「天台の祖師たち」「法華経への祈り」「浄土への憧憬」「天台の密教」「比叡の神」と仏「京都の天台」という六部のテーマで構成される。京都展にみられた、さらに細部に分けて構成するコーナーは設置されず、各テーマを大きくとらえる形となる。また会場が広いことで、よりゆったりとした展示となる。京都



重文 薬師如来及び両脇侍立像 東京・寛永寺蔵（同寺秘仏御本尊）



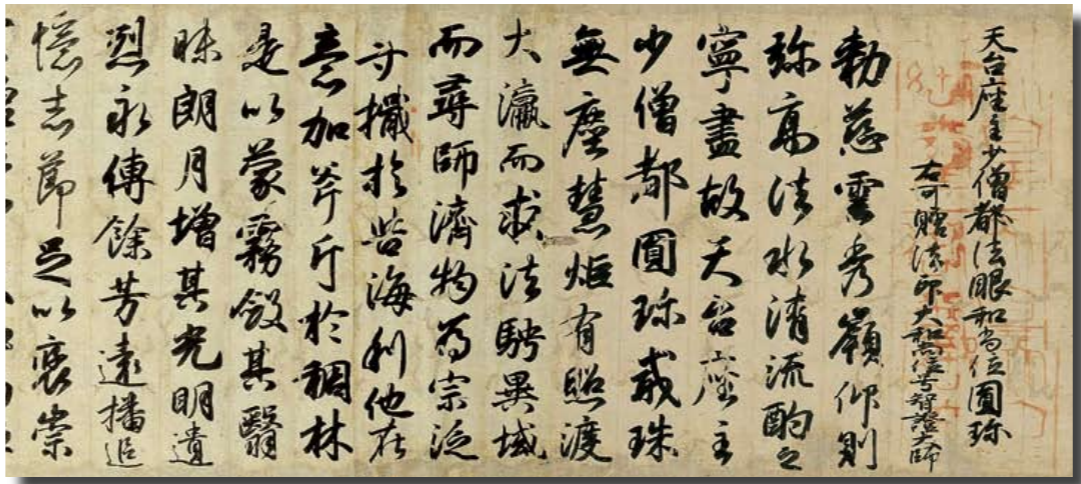
重文 文殊菩薩像 滋賀・比叡山延暦寺蔵 ※後期のみ展示



協侍の日光、月光菩薩と共に寛永寺の歴史でも寺外での公開は初めて。寛永寺の浦井正明執事長は「天台宗の開宗千二百年を記念しての国宝展であり、東博の金子啓明・事業部長が、今回の展覧会のメインにしたい」と語る。

### 門外不出の宝物も多数展示

そのほか、東京のみの出展は「文殊菩薩像」（延暦寺・重文）、「普賢菩薩像」（東博・国宝）、「円珍贈法印大和尚位並智証大師諡号勅書 小野道風筆」（東博・国宝）などである。東京国立博物館蔵のものには、数年に一度展覧されているが、今回の国宝展開催にあわせて例年の展示を見送り、満を持して出展される。

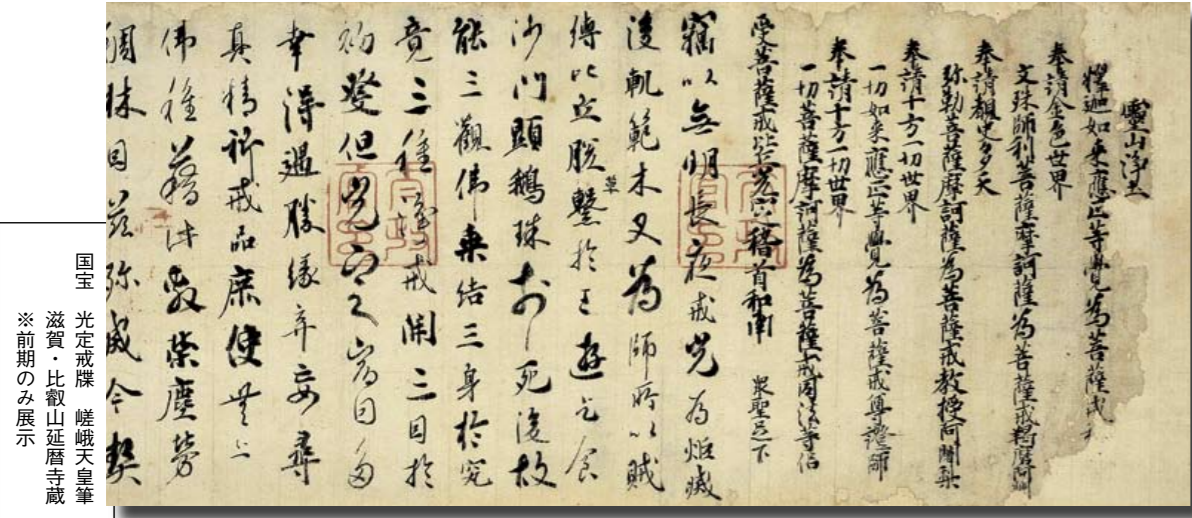


国宝 円珍贈法印大和尚位並智証大師諡号勅書 小野道風筆 東京国立博物館蔵 ※前期のみ展示



同館の島谷弘幸・展示課長は「比較的前期のほうが、ゆとりと見ていただけのと思われ。単なる美術品や工芸品ではなく天台の教えが、日本仏教の母なるものであるという視点で鑑賞していただきたい。そのための荘厳な展示演出も考えています」と語っている。 ※期間中展示替えあり。

国宝 普賢菩薩像 東京国立博物館蔵 ※前期のみ展示



国宝 光定戒牒 嵯峨天皇筆 滋賀・比叡山延暦寺蔵 ※前期のみ展示

## 東北・北信越・北陸地方で豪雪

### 宗務庁・延暦寺・教区役職員が現地を視察

昨年十二月以来の未曾有の豪雪によって、東北、北信越、北陸地方の各寺院は大きな被害を受けている。中でも、一昨年の新潟県中越地震での被災から未だ復興できていない寺院にはこの豪雪は大きな打撃となった。天台宗務庁並びに総本山延暦寺では、去る一月二十七日、二十八、二十九日と二月七日、八日にかけて、信越教区、北陸教区、福島教区、山形教区、陸奥教区の現地調査に入り、教区宗務所関係者等と共につづさに状況視察した。信越教区の新潟部では、どの寺院も三メートルを



信越教区・正寶院（1月27日）



北陸教区・顕海寺（1月29日）



福島教区・仁王寺（1月29日）



山形教区・立石寺（2月7日）



陸奥教区・毛越寺（2月7日）

十二月だけで通常の一年分の降雪で、屋根の雪下ろしは寺族、檀徒で何とかやっている状態である。全体の損傷は雪解けを待たないと不明という。福島教区では、雪の重みで屋根の庇が損傷したり、墓石が倒れる被害の報告を受けている。山形教区は各部、十カ寺以上を見舞いに訪れ、被害状況を視察。立石寺を始め、いずれの寺院も除雪に追われ、経済面での負担も悩みの種になっている状況だ。また、除雪作業中に手足を骨折した副住職、寺庭婦人もでている。陸奥教区も例年大雪に見舞われるが、この冬は早い時期からの豪雪で対応に追われていた。見舞いに訪れた中尊寺、毛越寺も雪に蔽われ、特に第三部の弘前市

や南、北津軽郡の各寺々では三メートルを超す雪を前に、除雪が追いつかない状態という。今回雪見舞いに訪れた寺院は次のとおり。▽信越教区Ⅱ正寶院、観音寺、本城院、大慶院、浄正院、不動寺、龍覺院、常行寺、大廣寺（新潟部）▽北陸教区Ⅱ顕海寺（北越部）▽福島教区Ⅱ仁王寺、天王寺、大正寺（第四部）▽山形教区Ⅱ立石寺（山寺部）若松寺（若松部）東善院、明學院、松巖寺、新庄部、寶光院（山形部）薬師寺、青龍寺、林照院、金壽院、龍覺院（屋代部）▽陸奥教区Ⅱ中尊寺、毛越寺（第二部）

なお、直接訪問できなかつた右記以外の寺院にも、教区を通じての見舞いを行っている。

# 設立30年を祝う

## - 記念誌も刊行予定 -

### 陸奥教区仏教青年会

陸奥教区仏教青年会(山田清隆会長)では、昭和五十年にそれまでの仏青組織を再編成してから本年度で三十年を迎



えるにあたり、同会内に記念事業実行委員会(千葉秀覚委員長)を発足させた。二月十一日には、毛越寺(南

毛越寺で行われた、陸奥教区仏教青年会三十年記念法要

洞頼教貫主を会場に会員二十四名が出仕し、山田亮清宗議会議長はじめ、菅原光中宗務所長らが随喜し「陸奥仏教青年会三十年記念法要」が厳修された。法要の中で山田会長は「先達諸師の築かれた伝統を絶やすことなく、この節目を契機に一層精進する」と決意を表明した。

法要後、中尊寺千田孝信貫首が「時感断相」と題して記念講演を行い、今後の仏青のあり方や寺檀関係のあり方などを話した。

記念事業実行委員会では、記念法要等が収録された「陸奥仏教青年会三十年記念誌」を年度末に発行する予定。

## 宗 教 対 無 着 潔 癖 と 傾 着



コンパス  
天台宗宗機顧問  
杉谷義純

デンマークのユランズ・ポステン紙が、イスラム教の予言者ムハンマドの風刺漫画を掲載、大騒ぎとなっている。その漫画はムハンマドが、爆弾の形をしたターバンを巻いている姿を描いているという。この掲載に対してイスラム諸国から激しい反発が起こると、今度は表現の自由を標榜して、欧州の各紙が一斉に転載に踏み切った。するとシリアやナイジェリアなどで抗議の暴動が起こり、多くの犠牲者を出すなど波紋が広がってきた。

この風刺画は、イスラム過激派のテロなどを批判するつもりで描かれたものである。しかし本来風刺画であろう。しかし本来風刺画

というものは、権力や時代の閉塞状況を生むものに対する批判精神を表現するものである。だから弱者である民衆に共感を得て、受け入れられなければならないの意図もない。その点で今回のムハンマドの風刺画は、イスラム社会の善良な市民に不快感を与えるだけでなく、むしろ敵にまわってしまった。その結果、批判されるべきテロリストや権力者を利するという、何ともお粗末なことになってしまった。

ムハンマドとは、仏教における釈迦、キリスト教におけるイエスのような存在である。そのうえイスラム教においては、ムハンマドの像を造ったり、絵にすることが禁じられている。だからその風刺画は、イスラム教徒にとつて二重の冒瀆を犯しており、受け入れ難いものだ。さらに最近ではイラク戦争、遠くは植民地時代以来の、キリスト教徒の多い欧米に対する潜在的な不満が、誘発されたといえる。

もちろんイスラム過激派のテロを批判する、表現の自由は確保されなければならない。一方、気に入らない批判だからといって、それに抗議するのに、暴力が許されることなどあつてはならない。しかし表現の自由だからといって、何でも許されるわけではない。公序良俗に反するものは一般に許されないし、またドイツやオーストリアでは、ホロコースト(ナチのユダヤ人虐殺)が無かつたと言え



故・山田恵諦座主 十三回忌法要で遺徳を偲ぶ

二月十七日、京都・ウエスティン都ホテルにおいて、第二五十三世山田恵諦天台座主猊下十三回忌追善の集いが執り行われた(写真)。

追善の集いには、第二五十五世渡邊惠進天台座主猊下はじめ、白柳誠一カトリック枢機卿、首藤正弘太子町長などが出席された。

## 天台トピックス

- ◎宗議会常任委員会を開催  
去る一月三十日から三十一にかけて、天台宗務庁において、宗議会の常任委員会が開催された。天台宗務庁規程の一部改正案等、当局から提出された案件を審議。いずれの案件についても了承され、次期通常宗議会上程されることになった。
- ◎第百九回通常宗議会  
3月7日、10日  
天台宗務庁
- ◎世界平和祈願比叡山大護摩供  
3月13日  
天台宗務庁
- ◎比叡山峰道伝教大師像前  
レスを付けた。仏教徒なのに平気で、大仏が真中に描いてある灰皿の土産を買ったり、この信仰に関する無頓着も、けしてほめられないものではあるまい。
- ◎第七十回宗務所長会議  
3月16日  
天台宗務庁
- ◎BS仏教第二教程講習会  
3月26日、28日  
比叡山延暦寺居士林
- ◎天台宗保育連盟新任保育士研修会  
3月28日、29日  
比叡山延暦寺居士林
- ◎「最澄と天台の国宝」展開幕  
3月28日、5月7日  
東京国立博物館

ど、各界から約四百六十名が集い、生前の山田座主猊下のご遺徳が偲ばれた。

集いに先立ち、比叡山瑞応院では十三回忌法要が厳修された。

阪神淡路大震災を機に、ボランティアという言葉は市民権を得た。しかしボランティア活動は、行く側も、受ける側も単純な美談ではあり得ない。今年の豪雪による除雪ボランティアでも、行く方は雪になれない者が何しにいくのか」などという「歓呼の

**天台ジャーナル 平成18年度ご購入のご案内**

いつも「天台ジャーナル」をご愛読頂き、誠にありがとうございます。平成17年度分のお届けは、3月号で終了いたします。

\*\*\*\*\*  
引き続き、平成18年度(4月号から来年3月号まで)ご購入お願い申し上げます。

お問い合わせ 520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2  
お申し込み 天台宗務庁 出版室 TEL 077-579-0022 FAX 077-578-4814

●天台宗公式ホームページからも、お申し込み頂けます。http://tendai.jp/journal/moushikomi.html

天台宗出版室 新刊のご案内

**天台ブックレット40号**  
定価80円(消費税含む)

**ともしび98号**  
定価80円(消費税含む)

お求めは 天台宗出版室  
TEL 077-579-0022 FAX 077-578-4814 まで



毎日百人以上の人たちがパンニヤ・ムッタ図書館を利用していたが、二〇〇一〜二〇〇二年の大雨により部分的に倒壊し、使用不可能に近い状態になっていた。

京都国立博物館 = 特別展覧会 =  
大絵巻展開催

4月22日～  
6月4日まで

国宝『源氏物語絵巻』『鳥獣戯画』など一堂公開

文字と絵画によって物語をあらわす「絵巻」の特別展が来る四月二十二日より六月四日まで京都国立博物館（京都市東山区）で開かれる。

絵巻は平安時代の物語成立と同時に作られるようになった日本独自の芸術である。説話、軍記物語、社縁起、高僧伝、御伽草子といったように、テーマも広がりながら発達してきた。言うならば、現代の映画や漫画、アニメのルーツといえよう。また、写真などのない当時の様子を後世に伝える、歴



三木宿木（写真）や、全国に散在する国宝級の絵巻が京都に集結する。国宝『源氏物語絵巻』『鳥獣戯画』など一堂公開

史的にも非常に貴重な文化財である。

今回の特別展では、全国に散在する国宝級の約五十件を展示する。現存する最古の絵巻「源氏物語絵巻」や「鳥獣戯画」「信貴山縁起」など、日本四大絵巻に数えられる作品を始め、国宝多数が展示される。文化財は、保護のため展示期間が制限されることが多いが、これほどまとまって絵巻を鑑賞できる機会は珍しい。

【お問い合わせ】ハローダイヤル  
〇六―四八六〇―一八六〇〇

インド・パンニヤムッタ図書館落成

一隅を照らす  
運動総本部 寄稿

天台宗一隅を照らす運動総本部の支援により、インド・ポニーニ市に完成したパンニヤ・ムッタ図書館（写真左）の落慶式が二月八日に行われた。

パンニヤ・ムッタ図書館は、読み書きができない人をなくすために、サンガラトナ・法天・マナケ師が一九九五年に開館した。以来、電気をつく一室は二十四時間開放する無料図書館として地域住民に利用されてきた。



落慶法要後、記念式典が挙行された

神奈川・圓満寺住職 前・天台宗宗務総長 西 郊 良 光

このためサンガ師は、一隅を照らす運動総本部に再建の支援を依頼していたのである。

昨年にはサンガ師が住職をつとめるインド・禅定林の本堂地鎮祭が行われた。図書館の地鎮祭も併せて奉修されていた。

当日は、数多くのインド、日本の来賓が見守る中、秋吉文隆一隅を照らす運動総本部長の導師により、出席した僧侶十七名による落慶法要が営まれ、日本側からは、堀澤祖門P.M.J.（パンニヤ・ムッタ日本協会）副理事長と私が祝辞を述べた。

祝辞はいずれも「図書館は、識字率の向上に役立つ、コミュニケーションの場として大変重要であり、今後は文化の向上に大いに寄与することを期待する」という内容であった。

私は、サンガ師の依頼を受け、現地を視察し、支援を決定したひとりとして、今回の落慶に一人倍の感謝と喜びを持つ者である。

また、本文は一隅を照らす運動総本部からの求めに応じて記した。

濱中新内局 部長の横顔 2

◇合 教 学 部 長

「最も教部長としての第一声は「就任して驚かれています」と思いました。だいた。宗議会議派新成会の幹事長からの就任。坂本へは平成三年から二年間、一隅を照らす運動総本部次長として単身赴任して以来二度目である。

「専門的なことは勸学さん



や宗儀研究所に任せて行政に反映させたい。」

これまで宗議会議員として当局の姿勢をチェックする立場

◇源 田 社 会 部 長

決断即決の人である。雪害に苦しむ福島教区や山形教区を一月二十八日から社会部長として見舞った。阪神大震災



自坊の龍泉寺では、ポー ইসカウトを組織し、天台宗ではその草分け的な存在である。昭和五十二年から八年間をかけて足利から比叡山まで、約百人の子ども達と七百キロを歩い

場から攻守所を変える。「ものの見方を変えることが必要。宗務所長の立場からも考えなくてはならない。視点をミクロから、全教区を視野に入れるマクロに変える」という。

何事も自分でやるタイプである。幹事長という会派のまとめ役から天台宗の責任役員・参務に転身については「覚悟はつけた。四年間だけ始めをつけた」とし「神経を鋭敏に保つてつとめた」。

た。一行は二泊三日。着いた天台宗寺院で寝泊まり自炊しながらの達成である。「子ども達に、何が大事かと自問した結果、千日回峰行の尊さを体験させたい」。その時の記念碑「我が道をゆく」が比叡山延暦寺会館横に立つ。平成七年から七年かけて立石寺への「回峰」も達成した。両寺から分灯された不滅の法灯二基が龍泉寺に祀られる。「宗として一隅を照らす運動をもっと積極的に展開してゆく必要がある」。



◇秋 吉 一 隅 を 照 ら す  
運 動 総 本 部 長

大正大学時代に剣道四段を取得し、現在五段。若い頃は、地元警察や少年剣道の指導者だったという剛の人。現在は「腕の筋肉が落ちて」と嘆くが、数年前に自坊・大分の文殊仙寺に入った養銭泥棒を追いかけ、抵抗する賊に歯を傷つけられながらも、取り押さえた。住職が剣道五段と知り、ずに入った泥棒は、大いに災難だったというところ。

が、普段は穏和で笑顔をたやさず、憎めない人柄である。宗政歴は長く、宗議会議員を四期にわたって務めた。関西の宗政会派・道興会の会長から今回内局入りを果たす。道興会は濱中光宗務総長の推薦母体。選挙やその後の組員にあたっては、濱中総長と共に関係者の説得や折衝に奔走した。その責任からも「全力で総長を支える」と言い切る。

総本山護持の念はこのほか篤いが、一隅を照らす運動については「天台宗の要であり、それを盛り立てるポジションに抜擢頂いたことは名譽と思う」。

# 私の法句経 (ほろくきょう)

天台宗宗機顧問 藤 光賢

(4)

人の生をうくるはかたく

やがて死すべきもの

いま生命(いのち)あるはありがたし

正法を

耳にするはかたく

諸仏の

世に出づるも

ありがたし

法句経 一八二

第十四章 「仏陀」

より

この世に人間として生れてくるのは難しいことです。私たちは、簡単に人間に生まれてきたと思っ

ていますが、自分がこの世に生れたらと意識したり、希望して生れてきたわけではありませ

ん。人間に生れるということは、実は、何億年、何兆年に一度

巡ってくるかどうかというチャンスに恵まれたからなのです。

ですから、人に生れたことに、まず感謝しなくてはなりません。

そして生れた以上、私たちの命はいつかは終わります。

そう思えば、今、この時を生きているということは、また実(まこと)にありがたいことであることが分るでしょう。

「ありがたい」とは感謝の意味であると同時に、文字通り、有ることが得難い(とくがた)という意味で使われています。

四、その仏さまから正法を受(う)けること

です。

それぐらいに、仏さまに出会(い)い、仏法を聴く(き)くということ

は難しいこととされているのです。

積尊は、『雑阿含経』に、

## 人に生まれたことに感謝し 仏法を聴く

### 人に生まれたことに感謝し 仏法を聴く

仏教では「四難の徳」ということがいわれます。

一、人間として生れること

二、せつかく受けた命を大切にすること

三、その命のあるうちに仏さまに出会うこと

四、その仏さまから正法を受(う)けること

です。

それぐらいに、仏さまに出会(い)い、仏法を聴く(き)くということ

は難しいこととされているのです。

積尊は、『雑阿含経』に、

盲亀浮木の譬(たと)えを説かれました。

「たとえば広い海の底に、目の見えない一匹の亀がいたとする。その亀は、百年に一度だけ、波の上に浮かび上がってくる。海上には一本の木が流れていて、その木の真ん

中に、亀の頭がやっと入るほどの穴が一つあいている。百年に一度浮かぶこの亀が、ちょうど浮いている木の穴から頭を出すことが一度でもあるだろうか。」

弟子の阿難は「そんなことはほとんど考えられません」と答えました。

積尊は、「まったくないとは言えない。人間に生まれるということ、今のたとえよりも、さらにあり得ないような難しいことなのだ」とおっしゃいました。

更に重要なのは、この世に有り難く人間として生れたからには、仏さまに出会い、正しい仏教の法(教え)を聴くことです。

そうすれば、苦悩の根源を解決し、絶対的幸福に救われることができるのです。

九州電力主催 平成十七年度 「夏休み作文」

金賞 「命を大切にすること」より

天拝小学校三年 渡邊 倫子

今、静かな論争を呼んで

いる「いただきます」をこ

存(ぞん)じましょうか。発端は、

東京都内の男性から寄せら

れた手紙です。その手紙を

永六輔さんがラジオで「ひ

つくりする手紙です」と紹

介したことから火が付きま

した。

ある小学校で母親が「給

食の時間に、うちの子には

『いただきます』と言わせ

ないでほしい。給食費をち

ゃんと払っているんだか

ら、言わなくていいではな

いか」と申し入れたという

## 雪が溶けて 川となって

中尊寺貫首 千田孝信

(12)

入学当初は、いつやめても不思議でないくらい弱々しかったのですが、娘の口から「やめたい。もう帰りたい」という言葉は一度も出ませんでした。私たち親への精神一杯の思いやりだったのです。

二年生の半ばごろから、何かか吹っ切れたように変わってきて、生活に勢いがでてきました。学校行事にも生徒会活動にも意欲的に取り組み、良い仲間が出来たよう

です。みな下宿のおじさん、おばさ

か、別の意味で嬉しい心配をしている私たちでした。七十キロの競歩遠足も

完走し心身ともに逞しくなりました。もがき苦しんだ分だけ、人の

傷みや優しさ、あなたがわか

けにもなり、必要な時間だったと

思います。

不登校の暗く長いトンネルの経験は、決して無駄ではなかった。

私たちが家族と娘にとつて、かけがえのない親子関係を

つくるきつかけにもなり、必要な時間だったと

思います。

た友だちと先生方には、感謝の気持ちでいっぱい

です。いつかすべてが、自分のこ

やしとなって、豊かな心人間になつていくはず

です。私たちが、そう確信しています。

## あなたの親でよかったです!

### ある父母の手記(2)

不登校の暗く長いトンネルの経験は、決して無駄ではなかった。

私たちが家族と娘にとつて、かけがえのない親子関係を

つくるきつかけにもなり、必要な時間だったと

思います。

た友だちと先生方には、感謝の気持ちでいっぱい

です。いつかすべてが、自分のこ

やしとなって、豊かな心人間になつていくはず

です。私たちが、そう確信しています。



カット・寺尾幸洋「笑顔」(アトリエ・ウーブ)

## 素晴らしい言葉たち (Wonderful Words)

もう一つ心にとったのは、おじさんが、「にわとりは生まれて百五十日でたまごをうみ始めて、人間のために一年間に二百七十コから二百八十コもたまごをうんでくれるんだよ。そして五百二十日くらいで肉になって命を落としてしまう。人間は、トリの命をもらったことを受けとめて、トリに感謝することが大事だね」と言われたことだ。たまごや肉を食べる時、トリの命と育ててくれた方に感謝しなくてはいけないと思った。

九州電力主催 平成十七年度 「夏休み作文」  
金賞 「命を大切にすること」より  
天拝小学校三年 渡邊 倫子

今、静かな論争を呼んでいる「いただきます」をこ存(ぞん)じましょうか。発端は、東京都内の男性から寄せられた手紙です。その手紙を永六輔さんがラジオで「ひつくりする手紙です」と紹介したこと

ある小学校で母親が「給食の時間に、うちの子には『いただきます』と言わせないでほしい。給食費をちゃんと払っているんだから、言わなくていいではな

か」と申し入れたというのです。番組には、リスナーから大きな反響があったとい

ます。多くはこの発言に否定的だったようですが、なかには「食堂で『いただきます』『いちごささみ』と

言ったら、隣の人に『何でそんなこというの?』と言われた。『作っている人に感謝している』と答えた

ら、逆に店がお客に感謝すべきじゃないの』と言われた」という意見もありました。寂しいな。豊かな国ニッポン。